

この公表資料は当店ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス <http://www3.boj.or.jp/kagoshima/>

2017年7月27日
日本銀行鹿児島支店

大河ドラマ「西郷どん」の経済波及効果

1. 経済波及効果の試算の概要

明治維新150年の節目となる来年(2018年)、西郷隆盛を主人公とするNHK大河ドラマ「西郷どん」が放映される。鹿児島県とゆかりの深い大河ドラマ放映に伴い、観光客の増加等による県内経済への波及効果が期待されている。

今般、本店が試算したところ、「西郷どん」放映に伴う鹿児島県への経済波及効果は、約307億円となった。

—— なお、今回の試算は、過去の大河ドラマの事例を参考にするなど一定の仮定のもとで行ったものであり、試算結果については相当な幅を持つてみる必要がある。

経済波及効果	直接効果	間接効果
307億円	199億円	108億円

(注) 直接効果：大河ドラマ放映による観光客数増加に伴う観光消費増加額¹（県外からの財貨・サービスの調達分を除く）。

間接効果：①直接効果により県内産業にもたらされる生産誘発額（1次波及効果）、②直接効果および1次波及効果により生じた雇用者所得の増加分が消費に向けられることで県内産業にもたらされる生産誘発額（2次波及効果）の合計額。

明治維新150周年となり、「西郷どん」が放映される来年に向けて、鹿児島の魅力をこれまで以上に幅広く発信するため、官民一体となって様々なイベントやプロモーション等に関する取り組みが本格化しつつある。各種施策の推進などによって、観光客の増加や滞在長期化、1人当たり消費額の増大、満足度の向上とリピーターの創出、観光資源の一層の掘り起こしや連携による集客力向上等を図り、経済波及効果を拡大・持続させるとともに、鹿児島の観光の中長期的な発展につなげていくことが期待される。

¹ 宿泊費、交通費、飲食費、土産代等が含まれる（観光関連施設の建設費等は含まれない）。

2. 試算方法

まず、過去の大河ドラマの事例を踏まえ観光入込客増加数を設定し、これに1人当たり観光消費額(観光消費額単価)を乗じて観光消費増加額を試算した。次に、この観光消費増加額を基に、鹿児島県「平成23年産業連関分析ツール(39部門)」を用いて経済波及効果を試算した。

(1) 観光入込客増加数および観光消費増加額

観光入込客増加数および観光消費増加額は、以下のように試算した。

① 観光入込客増加数

宿泊客数については、「宿泊旅行統計調査」(観光庁)を用いて、2008年～2015年の間に放映された大河ドラマの主な舞台となった都道府県の対前年増加率(放映年)の平均を県外客・県内客別に算定し(下表参照)、これらを「西郷どん」放映の効果として期待できる増加率と仮定した。

▽ 宿泊客数の動向(大河ドラマの主な舞台となった都道府県)

放映年	大河ドラマ	主な舞台となった都道府県	宿泊客数の対前年増加率(%)	
			県外客	県内客
2008	篤姫	鹿児島県	6.7	▲5.9
2009	天地人	新潟県	15.1	▲0.7
2010	龍馬伝	高知県	26.0	29.0
2011	江～姫たちの戦国～	滋賀県	20.6	19.1
2012	平清盛	兵庫県	1.3	3.2
2013	八重の桜	福島県	12.5	▲1.0
2014	軍師官兵衛	兵庫県	4.8	▲2.7
2015	花燃ゆ	山口県	1.8	▲5.9
平均			11.1	4.4

(注)「宿泊旅行統計調査」(観光庁)における「従業員数10人以上の施設」の対前年増加率。県外客は外国人宿泊者を除くベース。

次に、日帰り客数の増加率について、上記の宿泊客数の増加率および「篤姫」放映年(2008年)の事例²を踏まえ、県外客・県内客別に推計した。

観光入込客増加数は、「共通基準による観光入込客統計」(観光庁、2015年)における当県の観光入込客数³に、上記で推計した宿泊客数・日帰り客数の増加率を乗じて試算した。この結果、観光入込客増加数は約163万人となる。

² 「平成20年鹿児島県観光統計」(鹿児島県)における延べ宿泊観光客数の前年比は+2.4%、延べ日帰り観光客数の前年比は+5.4%であった。

³ 「日本人・観光目的」の観光入込客数。

② 観光消費増加額

観光消費増加額は、この観光入込客増加数に、「共通基準による観光入込客統計」（観光庁）における当県の観光消費額単価（2013年～2015年の平均値）を乗じて試算した。この結果、観光消費増加額は約 212 億円となる。

以上の試算をまとめると下表のとおり。

▽ 観光入込客増加数および観光消費増加額の試算

	観光目的の日本人客				合計
	宿泊客		日帰り客		
	県外客	県内客	県外客	県内客	
2015年観光入込客数(万人)・・・(A)	227	98	167	904	1,396
増加率(%)・・・(B)	11.1%	4.4%	25.5%	10.1%	11.7%
観光入込客増加数(万人)・・・(A×B)=(C)	25	4	43	91	163
観光消費額単価(円)・・・(D)	49,352	28,035	9,855	3,708	
観光消費増加額(億円)・・・(C×D)	124	12	42	34	212

(注 1) 2015 年観光入込客数および観光消費額単価は「共通基準による観光入込客統計」（観光庁）の鹿児島県の計数に基づく。

(注 2) 観光消費額単価は 2013 年～2015 年の平均値。

(注 3) 増加率は推計値。

(2) 経済波及効果

上記の観光消費増加額を業種別に振り分けた上で、鹿児島県「平成 23 年産業連関分析ツール（39 部門）」を用いて経済波及効果（「直接効果」および「間接効果」）を試算した。

—— 観光消費増加額の業種別の振り分けについては、「旅行・観光消費動向調査」（観光庁、2016 年）等を踏まえ、産業連関表の業種ごとに按分した。

—— この結果、間接効果のうち 1 次波及効果は約 75 億円、2 次波及効果は約 33 億円となる。

以 上